

議会報告会報告書

開催日時	平成 30 年 4 月 18 日（水）午後 7 時 00 分～9 時 00 分		
開催場所	徳和地区市民センター		
出席議員	中島清晴、殿村峰代、市野幸男、栗谷建一郎、沖 和哉、松岡恒雄、山本 節		
	司会進行者	山本 節	
	報告者	松岡恒雄	
	記録者	市野幸男	
参加人数	33 名		
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。		

松阪市議会議長 山 本 芳 敬 様

平成 30 年 4 月 26 日

議会報告会実施要綱第 8 条の規定により提出します。

議会報告会第 2 班

代表者 中島清晴

【第一部の主な質疑応答・意見等】

問 病院について

済生会に受診したが、かなり時間がかかった。どこの病院を受診しても待ち時間が長くなっている気がする。スタッフの問題なのか、制度や仕組みの問題なのか。改善してほしい。

答 現在、地域医療構想という大きな枠組みを作るよう進んでいる。病院経営の在り方もふくめ、協議していく。議会でも、市民病院の在り方についての特別委員会を作り、より深く調査し議論する。3病院としての連携も含め、重要だと認識している。待ち時間の短縮は議会では難しく、市民病院については議論も可能だが2病院については難しい。

問 学校の空調設備導入。DVO方式とは何か。

答 設計、施工、運営を一括して発注する方式。

意見 図書館が4月にリニューアルして良くなった。

開館時間が午前9時からであり、従来と変更はないのだが、真夏などは朝から猛暑である。改善を検討してほしい。

第2部用【地域防災について】

【主な質疑応答・意見等】

問 各地の最先端の防災訓練等に参加したり、研修を受けたりしているが、要介護状態の方が参加できるような訓練はほとんどない。実際に発災したらどうするのか。弱者の切り捨てか。もっと行政も寄り添ってほしい。

答 避難困難者の方々への支援の方法や仕組みについて、ようやく行政も取り組みだしたところ。

意見 防災訓練の際、消防団の方は、ぜひ、我々一般市民に対して、積極的なかわりをお願いしたい。

問 地域防災自助共助について要援護者を含め互いに支えあっていくためにも、介護保険での総合事業で関わりあっていくことが望ましいと思うが、地区防災計画への周知広報はどうなっているか。

答 地区防災計画作成については、各地区において、手上げ方式で、各地区の積極性を期待しているのが行政の考え方、毎年の防災訓練等での反復訓練など、常々の積極的な関わりが必要と考えるため、各世帯のご協力をお願いしたい。

【災害に備える冊子】声かけ助け合い制度、今後、議会としても研究をすすめ、行政とともにしっかりと議論していきたい。

意見 自治会に参加していない世帯や地区の線引きによって、隣接する地域でのかかわりの難しさがある。

自治会単位での互助共助であれば、どうしていけばよいのか。自治会連合会やまちづくり協議会等での会議においても、全自治会からの参加が難しい。代議員や役員の成り手がいない。地域の運営をどのようにしていくべきか、だれがどのように担っていくのか、行政も寄り添ってほしい。

問 自主防災組織さんと、消防団とは、車の両輪だと思うが、なかなか連携が取れていないのが現状。今後、どのように連携をしていくか、市がどのように考えているのか。

答 国の方針としては、消防団が地域の防災活動については、リーダーシップをとってほしいという考え方であり、中心になって積極的に活動をいただきたい。

問 東北の各震災地域を巡ってきた。10メートルという津波が押しよせてきたというが、鳥羽松阪線では3メートル程度であり、もし同規模のものが押し寄せて来たらどこへ避難するのか。ホテルやビルがない地域はどうするのか。住民の意識や訓練参加率も低く、気がかり。またトイレ問題はどうか。

答 外海に面する東北3県と、内海に面する松阪とは必ずしも一致しないと思うが、トイレ問題は重要。現在、マンホールトイレという形で、災害時に、直接下水道につながるような仕組みを作っている。ただ、下水道が整備されていない地域の課題は残る。議会もしっかりと研究する。

意見 簡易トイレは一斗缶で簡単に作れる。講習会なども開いてはどうか。

市としても簡易トイレ用の資材を備蓄している。また、簡易トイレは様々な方法が可能だと思われる。行政も、地域みなさんもそれぞれの準備をしてほしいと思う。

問 市民病院は何十年と続く歴史もあり、災害時には中心となる病院である。議会でも特別委員会を作ったとのことだが、病院を守る方向で、ぜひ取り組んでほしい。

答 特別委員会として、あらゆる方法を検討していく。来月から具体的な議論、研修をすすめる予定。

問 なぜ、松阪に避難タワーができないのか。

答 避難方法（遠く・高く）の徹底と、民間ビル等への協力依頼にとどまっている。タワー的なものの必要性を検討、研究するところである。

問 昨年の台風被害の際、どの道が水没しているのか、どの地区にどのような被害が出ているのか、情報共有をすることができず、大変困った。消防本部、消防団から各地区に情報が降りてこない、被害を抑えることはできないと思う。

答 今回の代表質問でも取り上げ、議会でも議論したところである。地区防災計画の策定や、消防団と地域との連携など、より積極的にかかわっていただきたい。